

経済倶楽部便り

◆東京◆ 年が明けて2025年を迎えました。経済倶楽部は1931年の設立ですから今年は設立から94年目になります。改めて倶楽部の現状を会員の年齢構成から確認してみます。年代別で一番比率が高いのは70歳代で、全体の36・2%。次が80歳代で28・2%、60歳代の23・3パーセントと続きます。企業や団体をリタイヤされてから参加される方が多いことから当然の年齢構成ですが、現役世代の50歳代以下も8・9%います。以前は講演会の開催時間がお昼過ぎの13時からということで仕事や地方の現役世代には参加の難しさがありました。しかし、現在では講演録画を2週間オンライン配信し

ており、その間、自由に何度でも視聴できますので、そうした不便は解消されています。今後とも現役世代の参加にも注力出来ればと考えています。年明け2回目の講演会は第45回石橋湛山賞受賞記念講演でした。受賞者で(株)日本総合研究所主席研究員の河村小百合氏が、太平洋戦争終結時を上回る膨大な公的債務の衝撃度と今後の日本銀行の金融政策並びに日本の財政政策のあるべき姿についてご講演されました。3月号に掲載されます。

3月の講師は慶應義塾大学教授の西野純也氏、上智大学学長の曄道佳明氏、ジャーナリストの舩友雄大氏、TBSスベシヤルコメンテーターの星浩氏を予定しています。

(日暮)

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2025年2月号)

2025(令和7)年2月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 山田 徹也 編集人 日暮 良一

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉